



発行人 木下 石治 編集人 編輯部 印刷所 信州印刷工業

新市に都市計画税を

固定資産に対し〇・二%を課税

昨年十二月都市計画地に指定された飯田市の新年度二十二年から都市計画税を課税することになった。これは都市計画地に指定されてから二年間は、一般道路等の事業費が、現在指定を受けているものより、工業用地に指定されているものより、二割以上多いものである。このため、工業用地に指定されているものより、二割以上多いものである。このため、工業用地に指定されているものより、二割以上多いものである。

地元負担千八百万円

緑ヶ丘中学校建築費三十二年度分

松井市長の案によれば、緑ヶ丘中学校の建築費は、三十二年度分、千八百万円に上ると見込まれている。これは、緑ヶ丘地区の固定資産の〇・二%を課税して、千八百万円を確保するものである。このうち、千二百万円は、市が負担し、六百万円は、緑ヶ丘地区の固定資産の持ち主が負担する。

市議選に深めたい認識

飯田市の市議会議員選挙が四月二十八日に開かれる。これは、飯田市の歴史の中で、最も重要な選挙の一つである。市議員は、市民の代表として、市の行政を監督し、市民の利益を代表して行動する責任を負っている。したがって、市議員の選出は、市民の利益を守るため、最も重要なことである。市民は、市議員の選出に、最も重要な役割を果たさなければならない。

市議選は四月二十八日

龍丘地区三名と決る

- 飯田市の市議会議員選挙が四月二十八日に決まった。龍丘地区の三名は、伊賀良、山本、下久堅と決まった。

問題多い市の中央道

建設資金の見通しがつかない

飯田市の建設計画に依る中央道は、長らく計画されてきたが、建設資金の見通しがつかない。これは、中央道の建設には、約十億円の建設費が必要である。しかし、現在の市の財政状況では、この建設費を確保することが困難である。したがって、中央道の建設は、しばらくの間、中断される可能性がある。

決っていない市役所敷地

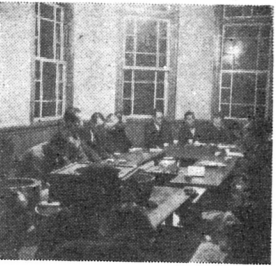
あてから大久保校で一時事務を

市役所新庁舎の建設については、決っていない。これは、市役所新庁舎の建設には、約十億円の建設費が必要である。しかし、現在の市の財政状況では、この建設費を確保することが困難である。したがって、市役所新庁舎の建設は、しばらくの間、中断される可能性がある。

田園都市発展を望む

龍丘地区民の心構え

龍丘地区の市民は、田園都市の発展を望んでいる。これは、龍丘地区の市民は、田園都市の発展を望んでいる。これは、龍丘地区の市民は、田園都市の発展を望んでいる。これは、龍丘地区の市民は、田園都市の発展を望んでいる。これは、龍丘地区の市民は、田園都市の発展を望んでいる。



全地区民をあげ

誘致運動を起せ

全地区の市民をあげ、誘致運動を起せ。これは、全地区の市民をあげ、誘致運動を起せ。これは、全地区の市民をあげ、誘致運動を起せ。これは、全地区の市民をあげ、誘致運動を起せ。これは、全地区の市民をあげ、誘致運動を起せ。

十一月分

水谷 一武	香川 桐林
井口 一武	上川路 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又

一月分

加藤 英雄	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又

戸籍の窓

伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又
伊賀良 勇	市川 時又
下井田 時又	市川 時又

組織の改革を

要する農業振興

組織の改革を要する農業振興。これは、組織の改革を要する農業振興。これは、組織の改革を要する農業振興。これは、組織の改革を要する農業振興。これは、組織の改革を要する農業振興。

社評拾語

社評拾語。これは、社評拾語。これは、社評拾語。これは、社評拾語。これは、社評拾語。これは、社評拾語。これは、社評拾語。これは、社評拾語。これは、社評拾語。これは、社評拾語。

